

事務事業マネジメントシート(平成29年度実績と平成30年度計画)

平成30年10月23日更新

事務事業名		都市防災総合推進事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画体系	政策	4	生活環境の健康			所属部	総務部	課長名	大茂 竜二
	施策	15	防災対策の推進			所属課	企画課	担当者名	坂井 竹志
	施策の柱	48	災害予防対策			所属班	企画広報班	(内線)	1252
予算科目		会計一般	款 2	項 1	目 26	事業連番 11744	根拠法令	成果優先度評価結果 : コスト削減優先度評価結果 :	
終了、開始年度		<input type="checkbox"/> 29年度で終了 <input checked="" type="checkbox"/> 29年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返 (開始年度 29 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 (~ 年度)		

★事務事業の概要 (PLAN)

【事業の内容】	市復興まちづくり計画に基づいて進める重点・主要事業のうち、①合志地区防災広場(合志庁舎前)、②野々島地区防災広場(野々島防災拠点センター西側拡張)及び③黒石地区防災拠点センター(設計のみ)の3つの事業について、平成29年度国の補正予算における都市防災総合推進事業の内定があったことにより整備事業を実施する。内容は、防災広場の用地購入、設計及び造成工事、黒石防災拠点センターの設計に取り組む。事業は平成30年度への明許繰越として実施する。
【業務の流れ】	1.復興まちづくり計画に基づく交付金要望事務→2.国、県、庁内調整事務→3.補助申請事務(政策課)→4.関係課調整(財政課、まちづくり対策室、生涯学習課、交通防災課)→5.事業実施(担当課) ※用地取得交渉は別途
【主な予算費目】	委託料、工事請負費
【意見や要望】	合志地区防災拠点(合志庁舎増築棟)及び野々島地区防災拠点(野々島市民センター)の整備に続き、平成30年度以降の都市防災総合推進事業(社会資本整備総合交付金：防災・安全交付金、補助率1/2)の要望を行っていたところ、平成29年度国の補正予算成立、内定(H30.2.1)を受け、前倒して事業実施が可能となったことにより企画した。

1 現状把握の部 (DO、PLAN)

(1)事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:新規
①手段(主な活動) 29年度実績(29年度に行った主な活動)(DO)	合志地区防災広場整備のため用地(4,639㎡)を購入した。	30年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
		合志地区防災広場整備事業、野々島地区防災広場整備事業、黒石地区防災拠点センター整備事業を予定している。
①活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	(単位) 件	予算の主な増減の理由
→ア:契約件数	件	
→イ:事業に伴う関係者との協議、説明会回数	回	
②対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	(単位) 箇所	②対象指標(対象の大きさを表す指標)
①合志地区防災広場、②野々島地区防災広場、③黒石地区防災拠点センター設計成果		→ア:計画する防災広場施設数
		→イ:
③意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	(単位) %	③成果指標(意図の達成度を表す指標)
①②施設整備が完成し供用できる。③期待される成果が納品される。		→ア:完成し供用開始できた防災広場施設率
		→イ:
*③成果指標設定の理由と30年度目標値設定の根拠		総トータルコスト 全体計画 ~ 年度 0

(2)各指標・総事業費の推移		単位	実績(決算)	実績(決算)	29年度 目標(当初予算)	29年度 実績(決算)	30年度 目標(当初予算)	31年度 予定	見込	見込
①活動指標	ア 件				11	11	10	5		
	イ 回				3	3	1	0		
②対象指標	ア 箇所				2	0	2	3		
	イ									
③成果指標	ア %				0	0	100	100		
	イ									
投資 入 費 量	財 源 内 訳	国庫支出金	千円				323,200			
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円			14,800	14,800	287,600		
		その他	千円							
		繰入金	千円							
	人 件 費	一般財源	千円			14,890	14,890	27,210		
		(A)事業費計	千円			29,690	29,690	638,010	0	
		(A)のうち指定経費	千円			0	0	0	0	
		(A)のうち時間外、特勤	千円			0	0	0	0	
		正規職員従事人数	人			2	2	2	0	
延べ業務時間	時間			40	40	40	0			
(B)人件費計	千円			159	0	0	0			
トータルコスト(A)+(B)	千円			29,849	29,690	638,010	0			

事務事業名	都市防災総合推進事業	所属部	総務部	所属課	企画課
-------	------------	-----	-----	-----	-----

2 評価の部 (CHECK)

*原則は29年度の事後評価、ただし複数年度事業は29年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①29年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した <input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②30年度目標達成見込み	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 目標達成は厳しい⇒【理由と対策】 これまでのところ順調に整備が進んでいるため
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】 これ以上の成果は求められない。
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似事業はない。
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 黒石拠点センター用地選定において、地盤状況や工法などを念頭に数パターンを検討し、コスト削減を図った。
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】 必要最低限の職員数で対応している。
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】 地域市民が避難する施設建設であるため公平公正である。
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 <input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】 防災拠点センターとして整備するため適正である。

3 評価結果の総括 (CHECK)

野々島拠点センター整備において、設計時の縮尺誤りがあり駐車場整備を翌年度に繰り越すことになった。合志地区防災拠点センター整備については滞りなく終了した。

4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

<p>(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案)・・・複数選択可</p> <p><input type="checkbox"/>廃止 <input type="checkbox"/>休止 <input type="checkbox"/>目的再設定 <input type="checkbox"/>事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (有効性改善)</p> <p><input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (効率性改善) <input type="checkbox"/>事業のやり方改善 (公平性改善)</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)</p>	<p>(2) 改革・改善による期待成果 (廃止・休止の場合は記入不要)</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持		○		低下			
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上																					
	維持		○																			
	低下																					
<p>(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策</p> <p>特になし</p>																						